

特別レポート

こどもを勉強好きに育てた お母さんがもつ “たった3つの法則”



はじめに

はじめまして。

「聴く」からはじめる家庭教育コンサルタントの白根航です。

私は、新潟県長岡市の学習塾で
200名以上のお母さんと面談、
またはカウンセリングセッションをおこなってきました。

その中で、“勉強好き”を育てたお母さんがもつ
共通点を発見したんですね。

そして、驚くほどシンプルな
“3つの法則”にまとめることができました。

この“3つの法則”を知っておくだけで、
お母さんは肩の力をフッと抜くことができます。

ただし、“法則”というのは、
知っているだけでは、あまり意味がないんですね。

法則を“知り”、
実際に“行動”し
続けて“習慣”にすることで始めて効果が出てきます。

ひとつでも「これいいかも・・・」
と共感するものがあったら、
3週間続けてみて、ぜひ”習慣”にしてみてください。

こどもが“勉強好き”へと確実に変わっていきます。

それでは、こどもを勉強好きに育てたお母さんがもっていた
“たった3つの法則”を発表します！

【第1の法則】 「すみません」より「ありがとう」

まずは1つめの法則です。

「すみません」より「ありがとう」

学校や学習塾な習い事で、
お母さんが先生に挨拶をするとき

「うちの子が、いつもすみません」

という言葉を使うときは、
その中に次のようなメッセージが含まれているんですね。

(うちの子はできが悪くて、すみません・・・)

(ご迷惑をおかけしてないでしょうか？申し訳ありません・・・)

ご謙遜もいくぶんかには入っているのですが、
こどもは、このメッセージをいつも聞いていたら
どう受け取るでしょうか。

(ぼくって、できが悪い子なんだ・・・)

(わたしって、迷惑をかける子なのかな・・・)

こどもは“無意識に”そう受け取ってしまうんです。

この「すみません」が
習慣になっているときには、注意が必要です。

こどものセルフイメージ（自信）を
確実に下げていきます。

セルフイメージが下がりつづけて、
ある一定のラインを超えると、
もう勉強どころの話ではなくなってしまいます。

自分に自信が持てなくなるわけですから、
何をやっても力が出ない・・・
という状態になります。

では、その逆の
「ありがとう」を使うとどうなのでしょう。

「いつもありがとうございます」
をたくさん使うお母さんのこどもは
“勉強好き”になっていくスピードが早いんです。

というのも、「ありがとう」には、
次のようなメッセージが
含まれているんですね。

(わたしのこどもの成長をサポートしてくれて、
ありがとうございます・・・)

(こどもが元気に通えるだけで、感謝です・・・)

「ありがとうございます」

この言葉は、
こどもが成長することへの
“信頼”、“感謝”を伝える言葉なんですね。

この「ありがとう」
が口ぐせのお母さんのこどもは、
いつもニコニコして、なんだか楽しそうなんです。

私が学習塾で、
「なんか嬉しいことあった？」

と聞くと、

「いえ、何にもないですよ～！」

と答えるのですが、
見ているといつもなんだか嬉しそうです。

こういうこどもは、勉強するときも、
この部分がおもしろそう！
と、おもしろいところを探そうとしたり、
この勉強方法を試してみよう！
と、新しいことに挑戦しようとしていたり、
生き生きしているんですね。

こどもを勉強好きに育てたお母さんがもつ
“たった3つの法則”

1つめの法則は、

「すみません」よりも「ありがとう」

です！

【第2の法則】 決めるのは、こども

第2の法則は

決めるのは、こども

です！

この法則を使っているのは、
20人のお母さんのうち1人くらいでしょうか。

私の目の前でこの法則を自然と使っていたということは、
きっと**習慣になっていた**と言えると思います。

この法則を使っているお母さんのこどもは
例外なく、**すでに“勉強好き”**でした。

私に勉強のことを相談しにこなくても、
もう自分から勉強する子ばかりでした。

しかも、楽しそうに。

このようなお母さんに

「私が（勉強を）見なくても〇〇くんは大丈夫だと思いますよ。」
と伝えると、反応はこんな感じなんです。

「白根さんは、そう言ってるけど、どうする？」

こんな風に、お母さんはすぐにこどもにどうするか聞くんですね。

決めるのは、こども

なんです。

こどもが自分でやることは、自分で決めさせる

ということを徹底しているんですね。

習い事をしたいかどうかも、
学習塾にいきたいかどうかも、
宿題をするかしないかも、
朝決まった時間に起きるかどうかも、
可能な限り、こどもに自分のことは自分で決めさせる、
というスタンスなんです。

もしお母さんがいつも“先回り”をして
こどものことをすべて“決めて”いると、
こどもは“自分で選ぶ楽しさ”がわかりません。

“自分で選ぶ楽しさ”がわからないと、
何かを決める場面で、他の人に決めてもらわないと
何もできない、という人間に育ってしまいます。

そして、その結果、
他の人への“依存”が生まれて、
こどもの自立心が失われてしまうんですね。

第2の法則の

「決めるのは、こども」

には、お母さんの“覚悟”が求められます。

こどもの人生はこども自身がつくっていくものだ

だから、自分のことは自分で決めてもらう、
という覚悟です。

この覚悟ができているお母さんのこどもは、
実に生き生きしています。

「進路の決定」などの決断のときにも、
自分の頭で考え、自分で納得して進路を選びます。

そして、自分で納得して進路を選んだ子は
合格率が非常に高いという私の経験則もあります。

2つめの法則は

決めるのは、こども

です！

【第3の法則】お母さんが本好き

こどもを勉強好きに育てたお母さんがもつ
“たった3つの法則”

最後の法則は

お母さんが本好き

です！

これも顕著でした。

こどもではなく
“お母さんが”というところがポイントです。

私は、お母さんと面談をするときに、
たいてい次のような質問をするんですね。

「お子さんは、本をよく読みますか？」

この質問に対するお母さんの答えは、
大きく次の3つに分かれます。

1. いやあ、うちの子は全然読まないです。
2. マンガしか読みません。
3. 小説とか読んでた気がします。

この答えの詳しい考察については、
また別の機会にゆずります。

この質問の後、続けて今度は

**「お母さんはどうですか？
本を読むのは好きですか？」**

と聞くんですね。

そのときに

**「はい！わたしはけっこう本が好きで
仕事（家事）の合間に読んだりしてます。」**

と答えるお母さんのこどもには、
おもしろい傾向があったんです。

時間にこそ、こどもによって時間差がありますが、
どのこどもも例外なく“勉強好き”になっていくんです。

でも、よく考えてみれば、
これは、当然と言えますよね。

お母さんが本が大好き
ということは、

お母さん自身が学ぶことが好き

ということですから。

そんなお母さんの姿を見て育った子は、
あっ、お母さん勉強してる、
しかも楽しそう、と感じるでしょう。

そして、勉強は楽しいんだ、
ということを少しでも感じたことがある子は、
早い段階で“新しいことを学ぶこと”への興味が出てきます。

大切なので、繰り返しますが、

**こどもではなく、
お母さん自身が本を読むのが好き**
なのが大切なんですね。

ちなみに、私は50人程度のお母さんに
「本についての質問」をしましたが、
そのうち、
「今でも本が好きで読んでます！」
と答えた方は10人程度でした。

この10人のお母さんのこどもを見てみたところ、
学校の勉強を超えて、
自分から学んでいく姿勢が
最初から身についていたんです。

そして、
学校の成績もぐんぐん上がっていくんですね。

もちろん
「忙しくて本はあまり読まないんです。」

と答えたお母さんのこどもの中にも“勉強好き”に
なっていった子はたくさんいます。

あくまでも、私個人の経験則なので、
割合などは参考程度にしていればと思います。

ただ、本好きのお母さんのこどもに、
勉強好きが多いというのは、
私の経験からいって間違いありません。

こどもを勉強好きに育てたお母さんがもつ
“たった3つの法則”

3つめの法則は、

お母さんが本好き

です！

さいごに

いかがだったでしょうか。

私が学習塾で12年間仕事をしてきた中で得た
“3つの法則”は、こどもたちに今まさに求められている法則です。

ちなみに、この“3つの法則”は、

【第1の法則】 「すみません」より「ありがとう」
は心がけ次第ですぐに実践できるので【初級】

【第2の法則】 決めるのは、こども
は、お母さんが“意識”して“継続”していく必要があるので【中級】

【第3の法則】 お母さんが本好き
は、“継続”してだけでなく“質”も求められ、
また1人ではやりにくいものなので【上級】

という位置づけになっています。

私がおこなっている個別セッションでは、
この難易度を意識した上で、
お母さんが継続して行動を変えられるお手伝いをさせてもらっています。

私がこのレポートの中で、いちばんお伝えしたかったこと。

それは、**「お母さんが変わると、こどもが変わる」**
ということです。

“3つの法則”を実践していくと、
お母さんの“考え方”が変わっていきます。

すると、お母さんの“行動”が変わり
こどもへの“接し方”が変わっていくんです。

そして、その新しい“接し方”が、
こどもに確実に新しい影響を与えていきます。

長期的に見ると、その新しい影響を受けて、
こどもは必ず、勉強好きになっていくんですね。

ただ、この“3つの法則”は、
シンプルではありますが、けっして簡単ではありません。
もしかしたら、1人では実践が難しいと
感じることもあるかもしれません。

そのときには、私がお母さんをサポートいたします。

お母さん同士が集まるコミュニケーション講座も開催していきます。

一人よりも二人、二人よりも大勢のほうが、
きっと実践しようとするエネルギーが湧いてきますから。

最後まで、お読みいただきまして、
本当にありがとうございました。

こどもの輝ける未来をつくるために、
共に行動し成長していきましょう！

〈プロフィール〉

勉強嫌いを勉強好きに変える専門家 &
「聴く」からはじめる家庭教育コンサルタント



1979年生まれ。新潟県長岡市出身。
北里大学水産学部卒業
二児（娘と息子）の父親。

東京の飲食店での店舗運営、スクーバダイビングアシスタントインストラクターなどを経験する。仕事の中で、受け身でやらされるのではなく、自らの意志で“選んで”勉強することの大切さと楽しさに気づき、それを子どもたちに伝えたいと思って教育業界に転身。自身が勉強嫌いから勉強好きになっていった経験もとに、個別指導の学習塾で「教える」ではなく「聴く」からはじめるプロ講師として活躍し、口コミや紹介で、塾の生徒数を2倍に増やす。

350名以上の生徒、200名以上の保護者と接する中で、「勉強しなさい！」とお母さんが言わなくても、子どもが自分から机に向かい、勉強好きに変わる“言葉マジック”を体系化。お母さんとともに、「親も子も自己肯定感を高め合う教育をつくる」を使命として活動している。